

「営業ホームページ活用講座」

講師：藤本 理弘氏（長野大学非常勤講師 ARECアドバイザー）

大学卒業後、横浜のIT企業で11年間、情報システム開発やマーケティングなどに従事。その後大学院に入り、地域と情報の関係について研究、博士（地域政策学）を取得。2013年より長野大学非常勤講師。長野大学の学生が立ち上げたITベンチャーに顧問として参加し、2021年より同社取締役。2023年よりARECアドバイザー。



■日時

- 【第1回】2月16日（金）15:30~17:30
- 【第2回】3月1日（金）15:30~17:30
- 【第3回】3月8日（金）15:30~17:30
- 【第4回】3月15日（金）15:30~17:30

■会場 AREC4階ミーティングルーム（上田市常田3-15-1信州大学繊維学部内）

■定員 20名（最小催行人数5名）

■対象者 自社のホームページをまだ持っていない、またはホームページを持っているが、営業面で活用できていないと考えている企業や店舗の経営者または営業担当者。

ウェブサイト構築についての知識は問いません。

■受講料 AREC・Fi Plaza会員 6,600円（税込） / 非会員 13,200円（税込）

■備考 ※第1回目は無料となります。

全4回お一人様あたりの金額となります。欠席による返金はありません。

■持ち物 インターネットに接続できるノートパソコンを各自持参してください。

なお、会場には無料のWi-Fi設備があります。

■主催 一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター（AREC）

東信州次世代産業振興協議会（事務局：上田市）

上田信用金庫

■申込 申込フォームよりお申込みください。※申込締切：2024年2月9日（金）

<https://forms.gle/xu8qCsKMaCWdz6t67>

申込QRコード



内容

AIの活用が急速に進んでいます。ホームページ（すなわち自社ウェブサイト）を持つことが、企業や店舗にとってはますます重要となり、またウェブサイトを持たないことがリスクになるともいえる時代になってきました。従業員20人以下の企業や、BtoB取引が中心の製造業・建設業などでも、ウェブサイトを持つことは珍しくなくなってきました。

一方、勧められるがままにウェブサイトを開設したものの、定形的な情報しか掲載できていないなど、うまく活用できていない例も目立ちます。営業面でどのように活用できるかが分からない、ウェブサイト制作業者に高額な料金を支払い続けているが、その費用だけの効果が上がっているように見えない、ネット広告を出しているはずなのに一向に問い合わせが来ない、などです。

この講座では、自社ウェブサイトがどのような形で企業の営業に役立つのか、ホームページ制作業者とどのように付き合いければよいのか、ホームページの運用をどのように行っていけばよいかを学びます。

- ※ ホームページの開設・運営方法を営業の立場から学ぶ講座です。ウェブサイトの開発方法についての学習は行いません。
- ※ ホームページは「ウェブサイト」と呼ぶことが一般的になってきていますが、ここではわかりやすさのために「ホームページ」という用語を使用しています。

【第1回】2024年2月16日（金） 15:30~17:30 「AI時代のウェブサイト活用」（無料）

企業において、自社ウェブサイトが果たす役割を学びます。

まず、ウェブサイトが営業面で役立つ活用例や、AI時代においてウェブサイトがないことでリスクが発生するパターンを紹介します。

次に、ウェブサイトに入人がたどり着くまでのプロセスを「カスタマージャーニーマップ」を利用して分析し、ウェブサイトは何が求められるかを学びます。

そして、ウェブサイトのアクセス状況の解析によく使われるツールを紹介します。

【第2回】2024年3月1日（金） 15:30~17:30 「ウェブサイトの内容を考える」

ウェブサイトにはどのような情報を掲載するのか、どのような情報を発信するのかということは、自社にしか判断できません。

そこで、自社や自社商品の強みをどのように把握し、どのようにウェブサイトに反映させるかという手法を、実習を含めて学びます。

【第3回】2024年3月8日（金） 15:30~17:30 「ウェブサイトへの誘客」

ウェブサイトは設置しただけではアクセスしてもらえません。必要な時に、必要な人にアクセスしてもらうためには、広告媒体の利用、SEO（検索エンジン最適化）などの施策が必要となってきます。

ここではオンライン／オフライン広告の活用やSEOなどの具体的な方法について学びます。

【第4回】2024年3月15日（金） 15:30~17:30 「ウェブサイトの改善」

ウェブサイトの運用を始めると、そこからさまざまなデータを取ることができます。こうしたデータを利用して、ウェブサイトを改善していくことが大切です。

ここでは利用可能なデータ解析ツールの使い方や分析方法、そこから導くことができるウェブサイトの改良策の立て方について学びます。